

加山興業直伝 中小企業本気のSDGs



(11)

企業訪問④ 東亜オイル興業所(千葉県)

SDGsに積極的に取り組む企業の訪問の第4回は、千葉県八千代市に本社を置く東亜オイル興業所さんです。同社は1950年に東京都台東区を産出回収業を開始して創業しました。68年に会社設立、80年に千葉県八千代市で工場が竣工、85年に同市に本社を移して現在に至ります。現在産業廃棄物の収集運搬・中間処理、再生重油やエマルジョン燃料の製造・販売などに取り組んでいます。

イメージを覆し「格好いい」と思われる業界目指す

SDGsは経営者のものです。われわれの業界はまだまだ世間に正しく認知されていません。業界団体やそこに加盟する一社一社がSDGsに法を遵守を徹底し、広く地域・産業社会に貢献いたします。ビジョン(実現したい未来)に「自然と共に生きる未来を創造する」

SDGsに取り組むに当たり企業理念を再構築。ミッション(存在意義)に「わが社は、緑豊かな明日を創るため、産業物の再資源化並びに環境保全に向けた技術革新に取り組まします。また、豊かな人間性擁立のため、安全で健康な職場環境の形成につとめるとも

初期には広報室も設けました。「この業界は社会貢献などさまざまな良い取り組みを行っているが、残念ながら広報がうまくありません。世の中にきちんと伝えていくことは大切なので、この点も当社が模範になれば」としています。現在ホームページの見直しを進めてお

イメージを覆し「格好いい」と思われる業界目指す

SDGsに取り組むに当たり企業理念を再構築。ミッション(存在意義)に「わが社は、緑豊かな明日を創るため、産業物の再資源化並びに環境保全に向けた技術革新に取り組まします。また、豊かな人間性擁立のため、安全で健康な職場環境の形成につとめるとも

SDGsに取り組むに当たり企業理念を再構築。ミッション(存在意義)に「わが社は、緑豊かな明日を創るため、産業物の再資源化並びに環境保全に向けた技術革新に取り組まします。また、豊かな人間性擁立のため、安全で健康な職場環境の形成につとめるとも



「SDGsに取り組む、業界の基準となることを目指す」と話す安池慎一郎社長

資源循環

ノミナーが重視されるようになる中で、これから育っていく子供たちにはそうした悪い印象はなくなってきました。これからさらに一歩進んで、子供たちに将来就職先として適んでもらえる業界にしていくのがわれわれの使命です。今までの業界のイメージ、常識をすべて覆し、子供たちに「格好いい」と思われる業界にしたいことを目指していきたいと考えています。安池社長は「これまで廃棄物処理業界は世間から悪イメージを持たれていたが、資源循環、サーキュラーエコノミーが重要視されるようになって、同社のSDGsへの取り組みや、支援企業の事例紹介等を交えながら紹介しています。中小企業がなぜSDGsに取り組まなければならないのか、中小企業がSDGsに取り組む意義は何なのかといったことを1年間(月1回)にわたって解説していきます。